

| | | | |
|--|------------|-------|----|
| No.14 | 高度化 | | |
| 氏名 | 松下 紘也 | 法学研究科 | M2 |
| 1. 出願時のテーマ・目標を具体的に記述してください。 | | | |
| <p>「戦争に纏わる歴史認識と、今後の平和教育の在り方について研究する。」 目標等を以下のように定めました。 → (目的) 私は立命館で多くのアジア諸国出身の学生と話す機会に恵まれました。私と彼らの間では異なる認識を持つ事柄が存在することを知り、実際にその国、施設を訪れることで初めて知る事が数多くありました。次は、私がそれらの事実を知るだけでなく、多くの日本人に知って頂きたいと思いました。 (社会への影響) 大学生という若者の目線で、戦争に纏わる歴史を研究することで、これからの日本の主役となる他の若者の関心を惹けるのではないかと考えます。我が国では現在、領土問題等を近隣諸国との間で抱えていますが、それらの問題の平和的解決に向け、正しい意味で愛国心を持ち、若者が国政に関心を持てる契機となれば嬉しいと考えます。</p> | | | |
| 2. 上述のテーマ・目標を実現するために実施した計画を具体的に記述してください。 | | | |
| <p>本年度の取材活動は、国内での活動に絞りました。また、活動について広く情報を発信するために、SNSの活用を試みました。 活動の詳細は以下の通りです。</p> <p>7/28 鶉野(うずらの)飛行場跡地等 9/10 小松基地 10/21 竹島資料館 (島根県立、松江市) 11/15 バンクシー展 2/5 奄美 旧日本軍弾薬庫 2/7 知覧特攻平和記念館</p> | | | |
| 5. 今回(今年度)の取り組みについて、今後の活動展開と展望を記述してください。 | | | |
| <p>今回の達成度は50%程度であり、初志貫徹を掲げ今後も継続させていきます。現在当初予定していた施設の多くは訪れることができ、またその過程で、他に訪れてみたい施設や研究テーマも増えました。今後はそれらを研究するとともに、+R奨学金のモットーである、後援会の皆様に支援していただいた予算で社会に貢献することを、第一目標に置き取り組んでいきます。</p> | | | |
| 6. 今回(今年度)の取り組みは、今後の学びや進路にどのように影響しますか。 | | | |
| <p>私は大学院卒業後、民間企業へ就職致します。社会人になった後も、この活動を続けていきたいと考えています。この活動が、数年後すぐに実績となる姿は容易に想像できませんが、戦争経験者が我が国から亡くなった後も、この国が平和であり続けられるよう正しい歴史認識を持つ大人となり、子供世代、そして孫世代に伝承する一端を担っていければ幸いです</p> | | | |
| 7. 今回(今年度)の活動が周囲に与えた影響(社会・周囲)への貢献・還元の点で記述してください。 | | | |
| <p>昨年度以前では、訪れた国々において、日本の若者が熱心に歴史を学ぼうとしている姿を示すことができました。ですが、他の日本の若者に広めるという活動が出来ていませんので、そちらを今後の課題とします。</p> | | | |

3. 個人の成長の軌跡3-1. 取り組みの過程でどのようなことがあったのか、グラフを作成してください。